

恐竜博物館の機能強化について

これまでの調査報告書の内容を踏まえ、新しい体制のもとで、北陸新幹線福井・敦賀開業効果を最大限に活用するため、リニューアルやオールシーズン化などの恐竜博物館の機能強化について職員自らがゼロベースで検討

1 コンセプト

オールシーズン体験可能な博物館にフルモデルチェンジ

- ・北陸新幹線福井・敦賀開業効果の最大活用と開館から20年経過による老朽化を念頭に、来館者の増加を図っていく。

2 見直しの考え方

- ・100年残る恐竜化石研究・情報発信の拠点博物館に
- ・最先端の技術、新幹線開業を活かし、年間140万人を目指す
- ・地域経済の好循環を創造

3 今後の検討

- ・県と市等が力を合わせ、機能強化による新たな展開について検討
 - ・現恐竜博物館のリニューアルやオールシーズン化の方法
 - ・公園や県内への回遊、混雑・渋滞の解消
 - ・展示やサービスに見合った観覧料の見直し
- ・職員による検討や地盤調査、配置イメージ作成等に要する経費を6月補正

(参考) 検討例

- (1) 大迫力・最先端映像を中心に本物を体験できる機能を強化
 - ①固定化するジオラマから来館者の人気・期待が高い映像へ
 - ②化石発掘・クリーニング体験
 - ③恐竜ライブショー
 - ④博物館の生命線である収蔵庫（一部スケルトンによる展示）の増築
 - ⑤ショップやレストランの充実
- (2) 公園内での回遊
 - ①公園内施設との周遊券設定
 - ②案内強化、サイン整備
 - ③トリックアート、クイズラリー
- (3) 県内・市内への回遊
 - ①市内飲食店や道の駅との連携
 - ②パーク&バスライドのフリー乗降
 - ③インバウンドの誘致
- (4) 混雑の解消
 - ①ホームページでの混雑情報発信
 - ②eチケット、整理券方式の検討
- (5) 渋滞の解消
 - ①駐車場・園内道路の整備
 - ②パーク&バスライドの推進